

「ごみの減量」推進

(1) 「分別収集」(分別しなければごみになる)

- 1993年～ ● 若手社員で「リサイクル実行委員会」発足。
紙類の本格的な分別から開始。⇒ [2015年現在 25品目の分別]
- 2000年～ ● 社員提案を受け、福祉に繋がる物の分別収集開始。
使用済み切手、フルトップ、ペットボトルのキャップ等々。



分別収集の一例 (左から、○ペットボトル ○ペットボトルのキャップ ○乾電池 ○インクカートリッジ ○ラップの芯)

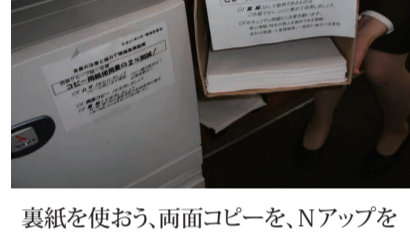
(2) 「ごみを持ち込まない」

- 1998年～ ● 日配協力会社に「通箱納品」の依頼⇒ [2015年現在 18社]
ダンボール納品は持ち帰り、発泡スチロールは持ち込み禁止要請。
- 1999年～ ● 「過剰包装は要らない」納品物の簡易包装化を依頼。
「容器のリターナブル化」要請は難航。
- 2008年～ ● 野菜・魚・肉類の納品スタイル協議。
「野菜の捨てる部分は要りません。魚の骨を外すと単価は？」



(3) 「ごみを作らない」

- 1998年～ ● 「客室アメニティグッズの簡易包装化に着手」。
歯ブラシ、レザア等は二重包装(紙箱・ビニール袋)を廃止し、
ビニール包装のみの簡易包装に。
シャンプー、リンス、石鹸(⇒ボディソープ)はディスペンサー式。
使い捨てスリッパ廃止。
⇒ (1998年実績 ごみの減量量▲5,526 Kg/年)
- 1999年～ ● トイレに「ハンドドライヤー」の導入。
*水を吸ったペーパータオルは意外に重い
⇒ (2003年実績 ごみの減量量▲5,949 Kg/年)
- 2006年～ ● 「コピー用紙の使用量削減」
両面コピー・裏紙利用の徹底化、ミスコピー防止活動展開。
連絡は社内イントラで、会議はプロジェクター使用。
⇒ (2015年実績 対前年削減枚数43,350枚(▲2.6%) /年)
- 2008年～ ● ソラリア西鉄ホテル「客室家具」の再生利用。
客室改装時、若手社員の「みんなゴミになるんですか？」
客室家具を再生利用の方向に計画見直し。
⇒ (産業廃棄物の減量 ▲22,848 Kg)
- 2009年～ ● 「事務用品の統合化」。
ボールペンは芯だけ購入、マジック・糊は詰め替え用に、
輪ゴムは必要な数だけ出庫、余剰事務用品は返却させ必要な部署に再配布。



裏紙を使おう、両面コピーを、Nアップを
年間約200万枚は⇒170万枚に



2008年 ソラリア西鉄ホテル客室改装「みんなゴミになるんですか？」

(4) 「水きり減量」と「計量の義務」(計量しなければ出してはいけません)

- 2005年～ ● 『食品リサイクル法』施行を受け生ごみの「水きり減量」開始。
生ごみは一旦、ザルに入れ、二次分別と「水きり減量」。
⇒ (2015年実績 ▲5,860 Kg/年)
- 2008年～ ● 「可燃ごみ・生ごみの計量の義務化」
⇒ (目標=見える化で毎年2%の削減)
「計量しなければ出してはいけない」のルールのもと、毎日・毎回計量して記録します。

平成26年度 生ごみの状況

平成26年度	西鉄グランドホテル		ソラリア西鉄ホテル		合計	対前年
発生量	78,392	100.0%	55,482	100.0%	100.0%	-11.7%
水切り減量	▲3,475	4.4%	▲2,403	4.3%	4.4%	-19.2%
「堆肥化」	0	0.0%	▲53,079	95.7%	39.6%	-5.4%
「養豚業者」	▲36,300	46.3%	0	0.0%	27.1%	15.8%
排出量	38,635	49.3%	0	0.0%	28.9%	-14.5%

(5) 「もう一度資源に」

- 2005年～ ● 西鉄グランドホテル 「養豚業への提供」
開業時から毎日、生ごみの一部を養豚業の方に提供。
⇒ (2015年実績 36,300 Kg/年)
- 2005年～ ● 「廃油(食用油)の代替燃料化」への協力
軽油の代替燃料製造資源として売却しています。
従前は凝固する動物性油はダメでしたが、現在は100%に。
⇒ (2015年実績 27,500 Kg/年)
- 2005年～ ● ソラリア西鉄ホテル 「生ごみの堆肥化開始」
1999年にマスコミに構想を発表し6年間かかりました。
多くの方のご協力を頂きました。
そして、2006年、佐賀県の有機農業グループの方々の協力でお米が育ちました。



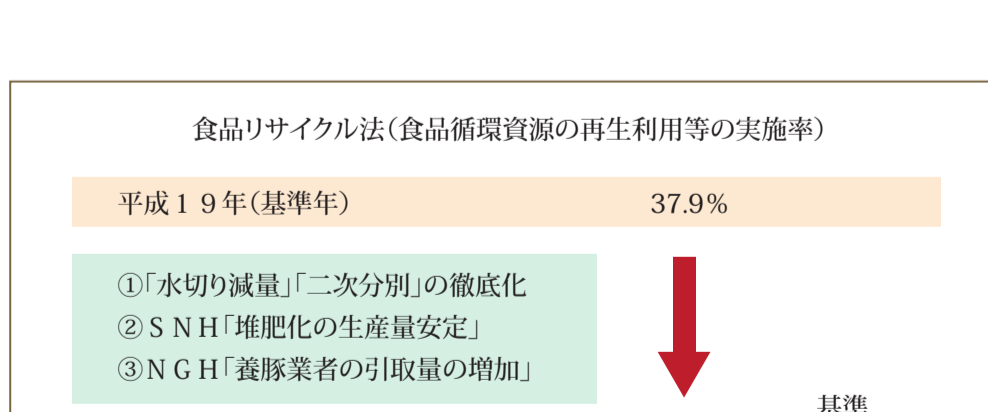
出荷2日前の堆肥



平成17年に完成した『生ごみ処理施設』

食のリサイクル完成 (単純構図)

平成26年度実績



(6) 「使ってもらえませんか」

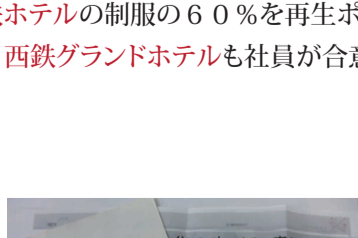
- 1996年～ ● 「不用品の寄贈」。
不要となった家具・ピアノ、数が揃わなくなった食器、
まだ十分着れる制服、お申し出があった福祉団体・NPOでもう少し使って頂いています。

(7) 「リサイクル品を使おう」

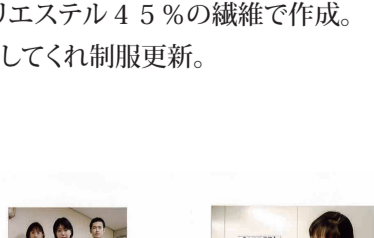
- 1996年～ ● 「紙類は古紙再生品を」。
トイレトーパー、ペーパータオル、コピー用紙、名刺等は古紙含有品に。
- 1999年～ ● 「制服はペットボトルで」。
ソラリア西鉄ホテルの制服の60%を再生ポリエステル45%の繊維で作成。
2009年、西鉄グランドホテルも社員が合意してくれ制服更新。



平成18年・循環米が実る



天神の生ごみ⇒佐賀の米に



1999年・「制服はペットボトルで」